

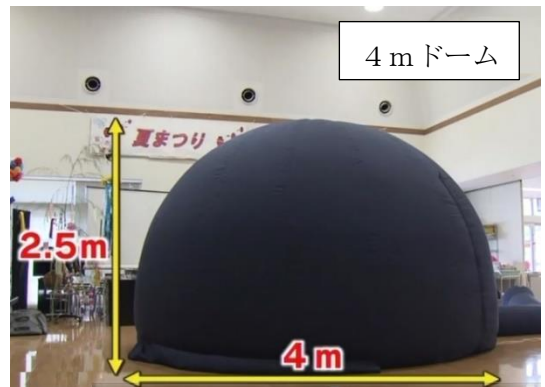
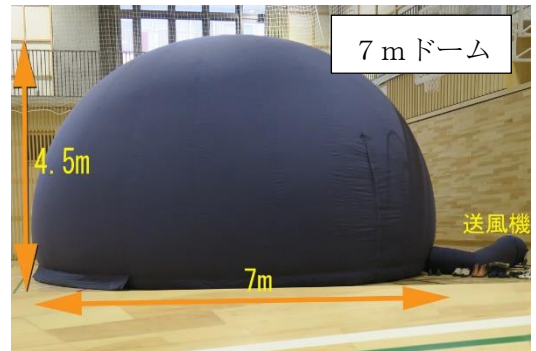
出張プラネタリウム よくある質問

Q1 投影スタイルをどのように選べばよいですか？

A1 参加人数と部屋の環境から決めます。(定員は、コロナ禍以降のもので)

	場所条件	定員/回	準備時間	施設に必要なもの
4 m ドーム	5m 四方・ 2.7m 天井高	15 名程度 車いす 数台	30 分	100V,15A 電源
7 m ドーム	8m 四方・ 4.5m 天井高	35 名程度 車いす 10 台	45 分	100V,15A 電源 寝ころぶためのマット
天井投影	天井が平らで白い 真っ暗になる	40 名程度	15~45 分 (遮光作業 含む)	100V,15A 電源 遮光作業のための脚立 寝ころぶためのマット
個室天井投影	天井が白い 真っ暗になる	数名	15 分	100V,15A 電源 遮光作業のための脚立

- ・定員は、車いすやストレッチャーの有無で幅があります。
- ・病院内の場合、多くはプレイルームや食堂などでの実施になり、ドームが入らなければ、天井投影を行うスタイルが多くなっています。
- ・参加者のほとんどがストレッチャーや車いすという場合には、7 m ドームもしくは天井投影をおすすめします。
- ・天井投影、個室天井投影の場合で、暗幕がない場合には、窓の大きさをお知らせください。遮光シートを用意します。
- ・必ず空調のある部屋でお願いいたします。(特に夏、冬)



Q2 1 回ごとの投影時間や投影間隔は？

A2 標準の 1 回の投影は 30 分ですが希望に応じます。上記の「準備時間」は、設置するためのもので、一度設置した以降の入れ替え時間は、15 分~20 分あれば大丈夫です。

Q3 投影回数はどれぐらいまで可能ですか？

A3 可能な限り対応しますが、5, 6 回が標準的、最高 10 回ぐらいまでは可能です。1 回のみでもオッケーです。

Q4 どのような姿勢で見るのですか？

A4 天井投影の場合、ストレッチャーの方はそのまま、それ以外の方は、床に寝ころぶ形になります。ドーム内では、床にすわったり、寝転んだりします。



Q5 機材はどれぐらいの大きさですか？

機材はコンパクトカーに収まる程度です。



Q6 準備時間がどれぐらいですか？

搬入から開始まで最低1時間をいただいています。大きな施設で、移動に時間がかかる場合や、ボランティアが多くかかわるときには、1時間半前に入ります。

Q7 注意することはどんなことでしょうか。

ドームに入る前に星つむぎの村スタッフからみなさんに注意事項をお話します。出入りのときには、ドームがつぶれてしまうので、複数名でドーム内に入り、患者さんの安全を確保しています。施設側のみなさまにもお手伝いいただいています。

ドーム内も、遮光された部屋も**かなり暗くなります**。ドームではなるべく途中の出入りをしないで済むようお願いしていますが、患者さんの様子で出なければならないときには、中断して出ていただくようにします。患者さんの様子を見たり、処置をしたりするために、**医療従事の方がドーム内や、部屋内を動くときのために、ライトを貸し出しています**。



Q8 費用は？

長期療養をしている子どもたちや難病の方々やそのご家族、団体、支援学校には、基本的に初回は無償でお伺いをしています。初回の場合でも、7mドームや、日程が限定されている場合、遠方(拠点:山梨)の場合には、実費に加えてできる範囲のご寄付をお願いしています。対象にかかわらず、下記費用を負担していただければ、日程を優先して決められます。プラネタリウム上映費用は、(病院がプラネタリウムの特別価格として) 4mドームおよび天井投影の場合は1日5万、7mドームの場合は1日7万を基本とし、それ以外に実費(交通費、宿泊費、輸送費)がかかります。まずはお問合せください。

Q9 申込みはいつでもできますか？

随時受け付けていますが、次年度の無償ものについては、前年度3月からとさせていただきます。サイトの依頼ページからお申込みください。 <https://hoshitsumugi.org/order/>